

思い感じたことを
徒然なるままに

くんぱるだより

H28 3/31 NO.61



☆ 極みを破り、自立の根を生やす

桜の木につぼみが見え、咲き始めているところもあります。暖かい季節、始まりの季節がやってきます。入学、進級で子どもたちも大忙し、大人は年度末で大忙しの3月ですf^_^;

さて、春休みに入り、ニューフェイス、長期のみの子どもたちもくんぱるに来ており、また、新たな環境を迎えるので、改めて書いてみたいと思います。

くんぱるハウスの一番の思いは「自立の基礎」の根を生やし、大人になって花を咲かすこと。そのための養分を与えていくことが思いです。では、自立ってなんでしょう？

辞書には「他への従属から離れて独り立ちすること」と自立の意味が書かれています。従属から離れるには何を？ということになります。小学生の子はまだ無理です。ですが、そうなるためのきっかけ、基礎は作れるはず、とくんぱるは考え、スタッフ共々その理念のもと、様々な経験、日常から子どもたちに教えております。

若者の話を聞くと、働かず親のスネをかじり遊び呆けている子が多いそう。また、勤めたとしても自分には合わないから辞めてしまう、続かないような奴らが増えているようです。「パラサイトチルドレン」と言いますが、親への寄生も極みを迎えるのでしょうか？この起因として終身雇用の崩壊、勝ち組負け組の格差化、非正規雇用の増加等、社会的なものが問題として取りざたされていますが、それらに付随して家庭教育も要因として考えられる気がします。

年齢が下がるにつれ思うこと、「指示待ち」の人間の増加です。考えなくても「聞けば教えてくれる」言えば「やってくれる」、「与えてくれる」など、ボケっとしていても暮らせる環境にいます。かく言う私もそれに近い子ども時代だった気もしますが、現代はさらに極まってきました。先日面接に24歳の子が来ました。駐車場に着いても入ってこず、電話をしてきて、私が「電話変わりましたが？」と言うと「はい」という返事だけでその先を話さず3回ほど同じ問答を繰り返し、私が「だから何？」と言ってようやく「着きました」と答える始末。電話してきた人間からの説明はなく、こちらの振り待ち。この時点で不採用ですよ？そんな人間が増えておるのを感じる出来事でした。案の定、実家暮らし、仕事もコロコロ変えて不安定、非正規雇用の仕事ばかりの履歴書でした。なんでもいから食らいついて仕事をする気概はないようです。では、子どもの話に戻ります。食べ物のことは特に私、厳しい目で見ておりますが、食べることは当たり前なのですが、「当たり前」に自分の目の前に置かれるまでの過程を省略して教育されている子が多い。おにぎりをおもちゃのように投げる、粘土のように潰して遊ぶ子がいて、雷を落とされます。『食べること＝生きること』です。その食べ物に感謝を持たないといけないことを延々と何回も説明することが大人は課せられます。その余裕もないくらいに大人は仕事せねばならぬ世の中になりました。また、豊かさと便利になった時代の極みでしょう。

くんぱるに来る子は初め戸惑います。すぐにやってくれない、教えてくれない、与えてくれないからです。子どもたちから湧き出る考える力、やりたい力、知りたい力をすべて大人が潰して成長する芽、チャンス逃したくないから。そこから自立の種が根を生やし、芽を出し実が結ぶのです。パラサイトしないため、大人が主になって子どもより前に出て先に言う、やることを減らしていきたいですね。

本年度も繰り返し申し上げてきました、大人の責務。子を思う気持ちは同じですが、自立してもらおうと言う「共通項」を設けて成長を支援していける環境、世の中にしていきたいですね。

☆ お知らせ 勝川 37-1771 (4/2 より開通) 春日井西 31-7557 (4/1 より開通)

4/4の「春のくんぱる遠足」は神領「下市場公園」勝川「細木公園」春日井西「朝宮公園」場所は予定です。持ち物・弁当・水筒・帽子・タオル・レジャーシート・おやつ 216円分

*雨天の場合中止となります。